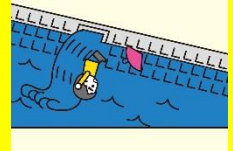




# 地震や風水害などの



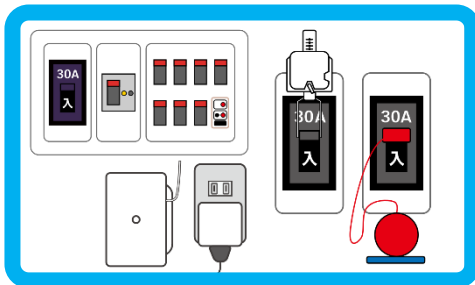
## 自然災害時における火災予防対策について

近年、台風や集中豪雨、地震などの自然災害により、大規模かつ長時間に及ぶ停電が発生しており、停電からの復旧後の再通電時に出火する、いわゆる「**通電火災**」の発生が懸念されています。

自然災害時における火災を防ぐには、**一人一人が火災を発生させないための対策を行うことが重要**です。

### 事前の対策

感震ブレーカーを設置しましょう

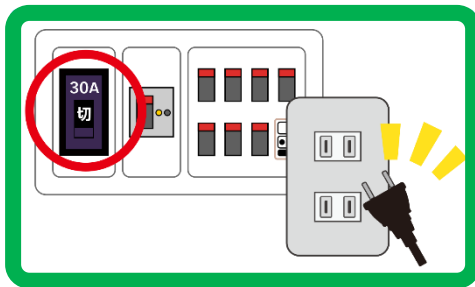


ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう



### 地震直後の対策

停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう  
避難するときはブレーカーを落としましょう

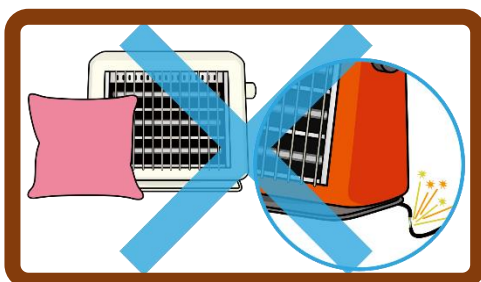


石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう

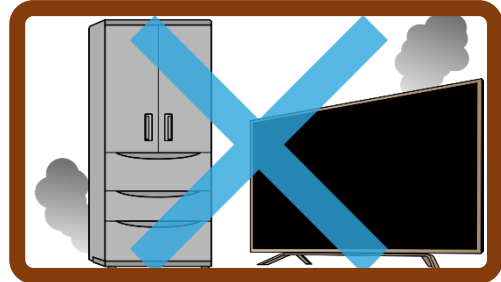


### 地震発生からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）

ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう



再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょう（煙、におい）

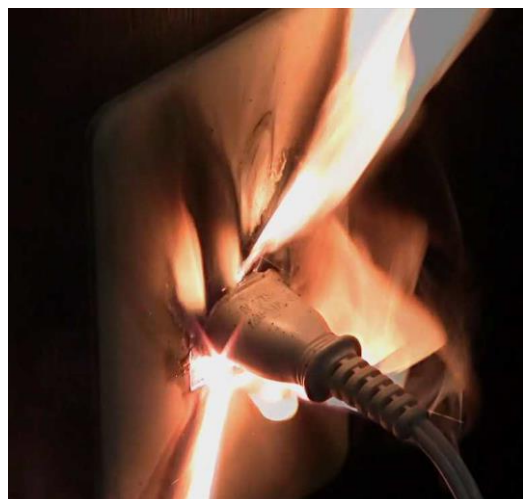


# 風水害発生時の通電火災を防ごう

- **通電火災**とは  
停電後、停電が復旧した際の再通電時に発生が懸念される火災です。

- **風水害発生時の主な要因**

- ・ 家屋への浸水や雨漏りによる、電化製品の基盤等の損傷により、再通電時にショートが生じて発火する可能性があります。
- ・ コンセントに水分が付着し、再通電時にトラッキングが生じて発火する可能性があります。



- **主な対策**

- ・ 停電中は電気機器の**スイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。**
- ・ 停電中に自宅から離れる際は、**ブレーカーを落としましょう。**
- ・ 再通電時には、漏水等により電気機器等が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、**十分に安全を確認してから電気機器を使用しましょう。**
- ・ 建物や電気機器に外見上の損傷がなくとも、壁内配線の損傷や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過した後、火災に至る場合があるため、**煙の発生等の異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡してください。**



地震や風水害で停電したあとは火災の危険がいっぱい！